

世界 国勢図会

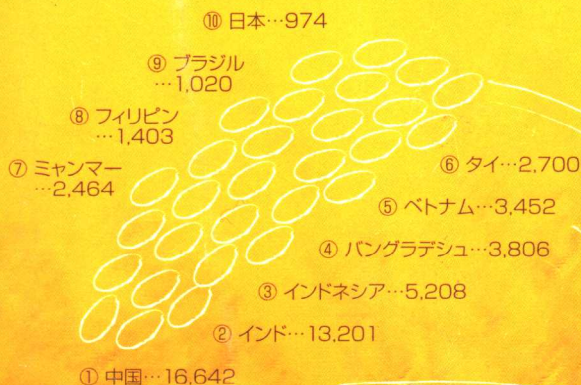
世界がわかる
データブック

第15版

世界の国々・人口と都市・労働・経済成長と国民経済計
算・資源とエネルギー・世界の農業・世界の工業・貿易
と国際収支・財政・金融・物価・運輸と通信・諸国民の
生活・軍備・軍縮

ずえ

世界の社会・経済情勢を表とグラフで わかりやすく解説したデータブック。



米の生産量 (単位: 万トン)
FAO生産統計2003年

2004/05

(財) 矢野恒太記念会 編集・発行

国連開催による「国際コメ年2004」

© 矢野恒太記念会 2004

図本書の全部または一部を無断でコピーすることは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

1985年(昭和60年)	12月10日	初版発行
1987年(昭和62年)	12月5日	第2版発行
1989年(平成元年)	12月1日	第3版発行
1991年(平成3年)	12月5日	第4版発行
1993年(平成5年)	12月1日	第5版発行
1995年(平成7年)	9月1日	第6版発行
1996年(平成8年)	9月1日	第7版発行
1997年(平成9年)	9月1日	第8版発行
1998年(平成10年)	9月1日	第9版発行
1999年(平成11年)	9月1日	第10版発行
2000年(平成12年)	9月1日	第11版発行
2001年(平成13年)	9月1日	第12版発行
2002年(平成14年)	9月1日	第13版発行
2003年(平成15年)	9月1日	第14版発行
2004年(平成16年)	9月1日	第15版発行

世界国勢図会 2004/05年版

編集・発行 財団法人 矢野恒太記念会
理事長 山口 隆 司
編集長 阿部 貴世 英

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-13-1 第一生命本館

電話 { 営業 (03) 5221-7403, 7404
編集 (03) 5221-7405

URL <http://www.yanotsuneta-kinenkai.jp>

定価：2,650円(本体2,524円+税5%)

乱丁・落丁本はお取りかえいたします。

印刷／大日本印刷

ISBN 4-87549-433-5

カバーには、環境を配慮してリサイクルしやすいニス仕上げを用いています。

世界 国勢図会

世界がわかる
データブック

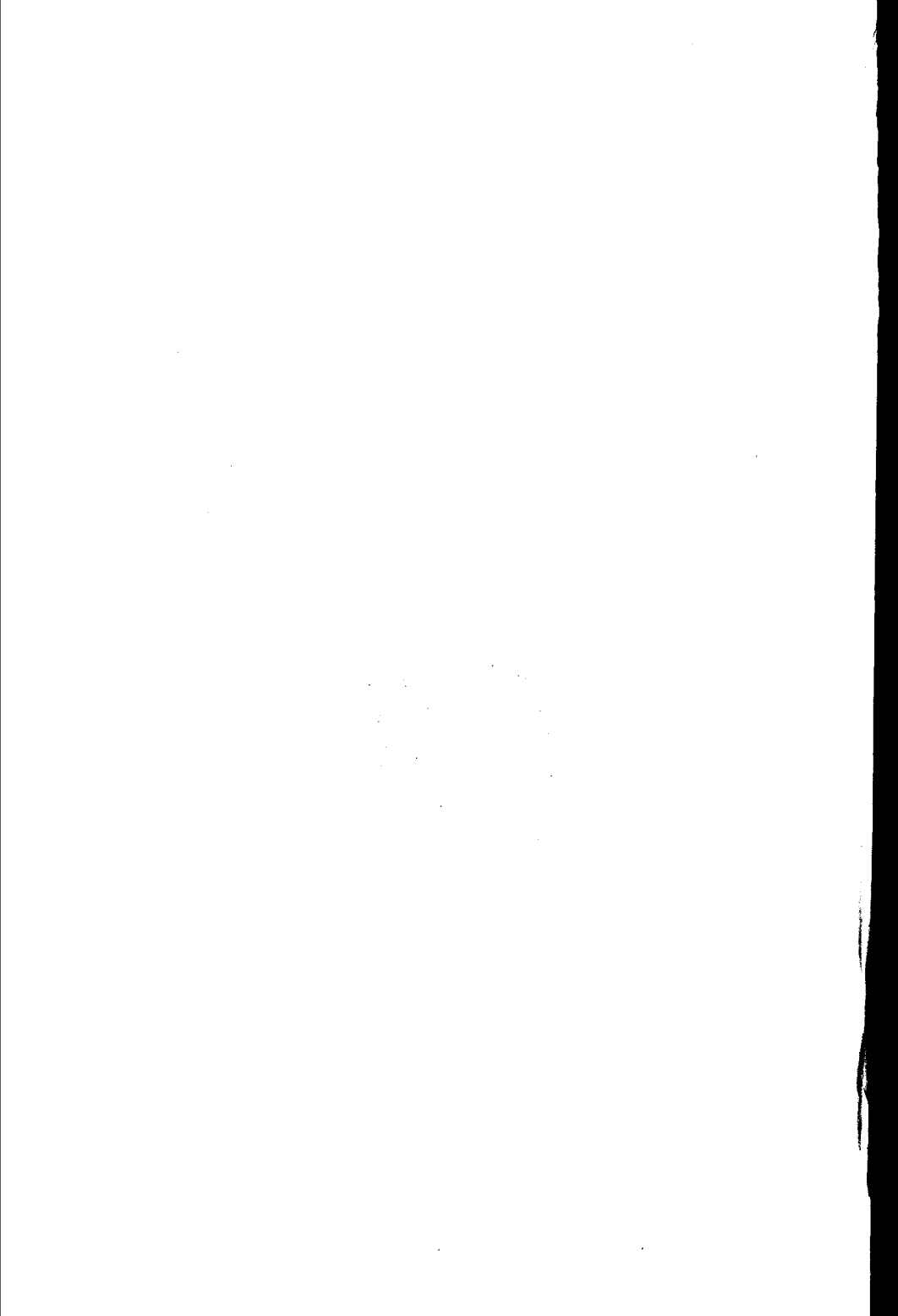
第15版

ずえ

世界の社会・経済情勢を表とグラフで わかりやすく解説したデータブック。

2004/05

(財) 矢野恒太記念会 編集・発行



まえがき

本書は、『日本国勢図会』（1927年＝昭和2年、矢野恒太*発刊）の姉妹図書として1985年に初版を発行致しました。国際化が急速に進むなかでより詳細な国際統計の必要性が叫ばれ、読者の間からも世界版の刊行を望む声が大きくなり、『日本国勢図会』に掲載する国際統計を大幅に拡充する形で『世界国勢図会』を発行することと致しました。初版から第6版までは隔年での刊行でしたが、第7版より年刊化し、本年版で第15版を数えています。

初版発行以来、20年近い年月が経過して、世界は大きく変動しました。冷戦時代の終結、核軍縮の進展、ソ連崩壊と東側諸国の市場経済移行による新秩序の形成、中国民主化への動きなど、大国対立の図式から国際協調の時代へと移っています。一方、2001年の同時多発テロ以降の米国対テロ組織の対立激化、容易に解決しない地域紛争など、国際社会の安定を得られず、チェルノブイリ原発事故、SARS、BSE、地球温暖化、飢餓など安全を脅かす要因が絶えません。

政体、宗教、民族、風土、産業、所得、教育、衛生など様々な差異が国際社会に影響を及ぼしており、本書では、統計数値化された様々な項目を収集することで、少しでも社会の実像に近づこうと試みています。

読者からの積極的なご意見、ご批判をお待ち致します。

2004年9月

財団法人 矢野恒太記念会
理事長 山口 隆 司

*矢野恒太 慶応 1.12.2 ~ 昭和26.9.23 (1866.1.18 ~ 1951.9.23)

第一生命保険相互会社の創立者。保険界のみならず統計、公衆衛生、社会教育など各方面に功績があった。

目 次

まえがき	3
凡 例	13
(主要国の基礎データ)	14
第1章 世界の国々	21
解説欄 世界の国・地域(22) 民主的な主権国家イラクに向けて (23) 中東「ロードマップ」難航(24) 暫定政府が発足したりベ リア(25) 2004年 主な選挙(43) 世界遺産 (2004年)(44) 国際 連合(45) 南北分断が続くキプロス(49) 主な国際機構(50)	
第2章 人口と都市	53
解説欄 人口ピラミッド(69) 2300年の世界人口(74)	
第3章 労 働	97
解説欄 児童労働(101)	
第4章 経済成長と国民経済計算	117
解説欄 BRICs(119) サミットに中国参加を(121) IT分野で成 長を目指すインド経済(132)	
第5章 資源とエネルギー	161
解説欄 中国の電力不足(189) 経済制裁緩和で脚光浴びるリビ ア(191) アジア地域の石油備蓄 (193)	
第6章 世界の農業	209
解説欄 国際コメ年2004(230) 拡大した飢餓(231) 植物油脂 (241)	
第7章 世界の工業	281
解説欄 鉄鋼市場にみる素材需給のひっ迫(305) 世界の航空機 産業(321)	
第8章 貿易と国際収支	333
解説欄 世界貿易機関 (WTO)(334) メルコスール(335) 先進 国、開発途上国、その他 (旧ソ連・東欧)(337) 政府開発援助 (ODA) の対GNI比(390) 急増する日本と中国の外貨準備高	

目 次

(391)	
第9章	財政・金融・物価 393
解説欄	中国元の切り上げ問題(396) ユーロ(397) どうなるイ ラク債務削減(413)
第10章	運輸と通信 434
解説欄	韓国版新幹線「KTX」開業(437) 現代のシルクロード、 アジアハイウェイ(443)
第11章	諸国民の生活 458
解説欄	世界地価等調査(481) 予測就学年数(491) ロシアで広 がる貧富の格差(494)
第12章	軍備・軍縮 499
解説欄	北朝鮮の核保有問題(500) 北大西洋条約機構(NATO) 26か国体制へ(501) ウガンダの終わらない内戦(502) 国連平和 維持活動(PKO)の現況((503) 軍縮関連の主な多国間条約 (504)
索 引	 519
主要参考資料	 525

統計表・図の目次

(主要国の基礎データ)

(図).....	14
(表 1～6).....	15

第1章 世界の国々

(表)

1 大陸別の面積と人口.....	26
2 独立国の一覧表.....	28～38
3 その他の主な地域の面積と人口.....	39
4 アメリカ合衆国50州の主要統計.....	40
5 主な国の宗教.....	42
6 2004年の分担率と国連通常予算分担額.....	44
7 主な難民発生国.....	48
8 国内避難民の発生国.....	49
9 主な自主帰還の動き.....	49

(図)

1 ワールドバンクによる国(地域)・人口・GNIの分布...	26
2 世界の面積・人口・人口密度	27
3 世界の宗教人口.....	42
4 国連の組織図.....	47
5 世界の難民数の推移.....	48
6 地域別・種類別の難民の割合	48

第2章 人口と都市

(表)

1 世界人口の推移.....	57
2 各国の人口の推移(Ⅰ～Ⅵ)・	57

3 各国の人口増加率(Ⅰ～Ⅲ)・	62
4 人口動態(Ⅰ～Ⅴ).....	64
5 年齢別人口構成(Ⅰ～Ⅳ)...	71
6 人口高齢化の推移と予測(Ⅰ～Ⅱ).....	75
7 人口予測(Ⅰ～Ⅲ).....	78
8 都市人口割合の推移(Ⅰ～Ⅳ).....	81
9 各国の大都市人口(Ⅰ～Ⅶ)・	85
10 地域別の都市人口予測.....	93
11 各国の主要都市の人口予測(Ⅰ～Ⅳ).....	93
(参考) 中国の主要都市人口...	96

(図)

1 各国の人口と人口増加数...	56
2 人口ピラミッド.....	69
3 年齢3階級別人口構成割合・	70
4 将来推計人口.....	77
5 地域別の将来人口.....	77
6 2015年の大都市人口.....	92

第3章 労働

(表)

1 労働力人口と労働力率(Ⅰ～Ⅲ).....	102
2 年齢階級別の労働力率(Ⅰ～Ⅱ).....	104
3 産業別の就業人口の割合(Ⅰ～Ⅳ).....	106
4 主要国の失業者数・失業率の推移.....	110
5 主要国の実労働時間(Ⅰ～Ⅱ).....	111

6	主要国の賃金上昇率……………	113	4	ダイヤモンドの生産……………	167
7	主要国の労働争議……………	116	5	鉄鉱石の生産推移……………	168
(図)			6	鉄鉱石の埋蔵量と可採年数	169
1	主要労働指標の比較 (Ⅰ～Ⅱ)……………	100	7	ボーキサイトの生産……………	169
2	日本を100とした主要国の 賃金……………	114	8	ボーキサイトの埋蔵量……………	169
3	主要国の男女賃金格差……………	115	9	銅鉱の生産……………	170
第4章	経済成長と国民経済計算		10	銅鉱の埋蔵量と可採年数……………	170
(表)			11	鉛鉱の生産……………	171
1	主な経済ブロック……………	120	12	鉛鉱の埋蔵量と可採年数……………	171
2	国際機関の経済見通し……………	121	13	亜鉛鉱の生産……………	172
3	各国の国内総生産(Ⅰ～Ⅲ)……………	122	14	亜鉛鉱の埋蔵量と可採年数……………	172
4	各国の1人あたりの国内総 生産(Ⅰ～Ⅲ)……………	129	15	すず鉱の生産……………	173
5	各国の国民総所得と1人あ たりの国民総所得(Ⅰ～Ⅲ)……………	133	16	すず鉱の埋蔵量と可採年数……………	173
6	各国の実質経済成長率 (Ⅰ～Ⅱ)……………	136	17	塩の生産……………	173
7	各国の国内総支出(Ⅰ～Ⅶ)……………	139	18	ニッケル鉱の生産……………	174
8	各国の産業活動別国内総生産 (Ⅰ～ⅩⅤ)……………	146	19	ニッケル鉱の埋蔵量と可採 年数……………	174
(図)			20	主なレアメタルの生産・埋 蔵量(Ⅰ～Ⅱ)……………	174
1	主な経済ブロックのGDP……………	120	21	一次エネルギーの生産推移 (Ⅰ～Ⅱ)……………	176
2	国内総生産の多い国……………	128	22	一次エネルギー供給の推移 (Ⅰ～Ⅲ)……………	178
3	1人あたり国民総所得の多 い国……………	132	23	主要国の一次エネルギー供 給の構成(Ⅰ～Ⅳ)……………	181
4	GDPの実質成長率の推移 (Ⅰ～Ⅱ)……………	138	24	主要国の一次エネルギー自 給率と1人あたり供給……………	185
第5章	資源とエネルギー		25	一次エネルギーの純輸入量……………	186
(表)			26	石炭の産出・埋蔵量……………	188
1	金鉱の生産……………	166	27	石炭の輸出入……………	189
2	白金族の生産……………	166	28	石炭の消費推移……………	190
3	銀鉱の生産……………	167	29	原油の産出量と埋蔵量 (Ⅰ～Ⅱ)……………	192
			30	各国の原油需給……………	194
			31	石油製品の生産……………	196
			32	石油製品生産の内訳……………	197
			33	天然ガスの生産……………	198
			34	天然ガスの需給……………	199
			35	ウランの生産と埋蔵量……………	202
			36	世界の原子力発電設備容量……………	203

37	世界の発電量(Ⅰ～Ⅱ)……	204
38	発電量の内訳(Ⅰ～Ⅱ)……	206
(図)		
1	各種金属鉱の主要生産国…	164
2	各種金属鉱の主要埋蔵国…	165
3	主要国の一次エネルギー供給構成……	184
4	エネルギー資源の主要生産・埋蔵国……	187
5	世界の原油生産とOPECのシェア……	191
6	原油・天然ガスの地域別の埋蔵量……	200
7	原油・天然ガスの輸出入…	201
8	各国の発電エネルギー源別割合……	208

第6章 世界の農業

(表)

1	食料生産指数と穀物自給率(Ⅰ～Ⅲ)……	213
2	農業経済活動人口と農地面積(Ⅰ～Ⅳ)……	216
3	各国の農作物の生産(Ⅰ～Ⅳ)……	221
4	小麦の主な生産国……	225
5	米の主な生産国……	226
6	大麦の主な生産国……	227
7	とうもろこしの主な生産国	228
8	ばれいしょの主な生産国…	229
9	かんしょの主な生産国…	230
10	大豆の主な生産国……	231
11	砂糖の生産……	232
12	果実と野菜の生産……	234
13	主な野菜の生産国(Ⅰ～Ⅱ)……	235
14	主な果実の生産国(Ⅰ～Ⅲ)	236
15	主な植物油脂原料と植物油	

	脂の生産(Ⅰ～Ⅱ)……	239
16	その他の農作物の生産国…	241
17	主な国の主要食料需給(Ⅰ～Ⅲ)……	242
18	地域別の農作物の貿易…	246
19	小麦の輸出入……	247
20	米の輸出入……	248
21	大麦の輸出入(Ⅰ～Ⅱ)……	248
22	とうもろこしの輸出入(Ⅰ～Ⅱ)……	249
23	大豆の輸出入……	250
24	砂糖の輸出入……	251
25	その他の農作物の輸出(Ⅰ～Ⅲ)……	251
26	農業機械の保有台数……	255
27	肥料の消費量(Ⅰ～Ⅱ)……	256
28	綿花の生産と輸出入……	258
29	羊毛の生産と輸出入……	259
30	生糸の生産と絹の輸出入…	260
31	麻類の生産……	261
32	各国の畜産業(Ⅰ～Ⅳ)……	263
33	世界の家畜頭数(Ⅰ～Ⅲ)…	267
34	畜産物の生産(Ⅰ～Ⅲ)……	269
35	肉類の輸出入……	272
36	木材の伐採(Ⅰ～Ⅲ)……	273
37	木材の貿易……	276
38	各国の漁業生産量(Ⅰ～Ⅱ)	277
39	各国の養殖業生産量……	279
40	水産物の輸出入……	280

(図)

1	食料生産と人口の地域別推移……	212
2	主な穀物生産国……	220
3	農産物生産に占める主産国の割合……	233
4	世界の農産物貿易に占める主な国の割合……	245
5	主な国の農業生産活動の比較……	254

6	肉類の供給量と自給率……	262	29	世界のパソコンのメーカー 別出荷台数……………	313
7	各国の漁業・養殖業生産量 の割合……………	279	30	世界のソフトウェア売上高	313
第7章 世界の工業			31	主な国の化学工業の出荷額 と貿易額……………	314
(表)			32	おもな基礎無機薬品の生産	315
1	各国の工業付加価値額……	287	33	化学肥料の生産……………	316
2	主要国の研究費……………	288	34	基礎石油化学製品の生産…	317
3	主要国の技術貿易……………	288	35	主要石油化学製品の生産…	318
4	主要国の特許出願・登録状 況……………	289	36	主なプラスチックの生産…	319
5	鉄鉄生産の推移……………	290	37	プラスチック生産の推移…	320
6	粗鋼生産の推移……………	292	38	プラスチック輸出と消費	321
7	鋼材および半鋼材の輸出入	293	39	天然繊維織物の生産…………	322
8	粗鋼消費の推移……………	294	40	化学繊維の生産量……………	323
9	アルミニウム生産の推移…	295	41	セメントの生産量……………	324
10	アルミニウム消費の推移…	296	42	パルプ、紙・板紙の生産…	325
11	銅(精銅)の生産と消費…	296	43	パルプ、紙・板紙の消費…	326
12	亜鉛の生産と消費……………	297	44	世界の古紙統計……………	326
13	鉛(精鉛)の生産と消費…	297	45	天然ゴムの生産と消費……	327
14	すず新地金の生産と消費…	298	46	合成ゴムの生産と消費……	328
15	ニッケルの生産と消費……	298	47	ビールの生産量と1人あた り消費量……………	329
16	世界の造船竣工量……………	299	48	ワインの生産量……………	329
17	世界の自動車生産……………	300	49	世界の大企業(I～VI)……	330
18	主な国の自動車の輸出……	302	(図)		
19	世界の自動車メーカーの生 産台数……………	303	1	主な国の工業生産指数……	285
20	二輪自動車の生産……………	303	2	各種工業製品の主要生産国	286
21	工作機械の生産額と貿易額	304	3	主要国の粗鋼生産と地域別 の粗鋼生産割合……………	291
22	産業用ロボットの稼働台数	305	4	主要国の自動車生産…………	302
23	主要電子機器の世界生産状 況(I～Ⅲ)……………	306	第8章 貿易と国際収支		
24	世界の家庭用冷蔵庫・洗濯 機の生産……………	309	(表)		
25	テレビの輸出入……………	310	1	地域別の貿易(I～Ⅱ)……	336
26	集積回路・トランジスタ等 の輸出入……………	311	2	地域別の輸出相手先…………	338
27	コンピュータの輸出入……	312	3	各国の貿易額の推移 (I～Ⅸ)……………	341
28	世界の半導体出荷額…………	313	4	1人あたり貿易額、貿易依	

存度，輸出比率(Ⅰ～Ⅱ)・・・	351	76 各国の国際収支(Ⅰ～Ⅴ)・・・	374
5 主要国の相手先別貿易		77 外貨準備高(Ⅰ～Ⅱ)・・・	384
(Ⅰ～Ⅵ)・・・	354	78 通貨の名称と為替相場	
6～75 (各国の商品別貿易)		(Ⅰ～Ⅱ)・・・	386
日本，イスラエル，イラン，		79 DAC加盟国の政府開発	
インド，インドネシア，		援助 (ODA) の実績・・・	391
カザフスタン・・・	361	80 経済協力資金の受取額・・・	392
韓国，サウジアラビア，			
シンガポール，スリランカ，		(図)	
タイ，台湾・・・	362	1 地域別の輸出相手先・・・	340
中国，トルコ，パキスタン，		2 輸出と輸入のランキング・・・	350
フィリピン，ベトナム，		3 主な貿易国の1人あたり貿	
香港・・・	363	易額と貿易依存度・・・	353
マレーシア，アルジェリア，		4 主な国の入出超額の推移・・・	360
エジプト，ガーナ，		5 主要先進国の国際収支・・・	373
カメルーン，ケニア・・・	364	6 DAC加盟国のODA (政	
ジンバブエ，チュニジア，		府開発援助) の推移・・・	390
南ア共和国，モーリシャス，			
モロッコ，アイルランド・・・	365	第9章 財政・金融・物価	
イギリス，イタリア，		(表)	
オーストリア，オランダ，		1 各国中央政府の歳出の推移	
ギリシャ，スイス・・・	366	(Ⅰ～Ⅱ)・・・	398
スペイン，スロベニア，		2 各国中央政府歳出の使途別	
チェコ，デンマーク，		構成(Ⅰ～Ⅱ)・・・	400
ドイツ，ノルウェー・・・	367	3 各国中央政府の歳入構成	
ハンガリー，フィンランド，		(Ⅰ～Ⅱ)・・・	404
フランス，ベラルーシ，		4 各国中央政府総債務の推移	
ベルギー，ポーランド・・・	368	(Ⅰ～Ⅱ)・・・	408
ポルトガル，ルーマニア，		5 OECD諸国の財政収支・・・	410
ロシア，アメリカ合衆国，		6 OECD諸国の債務残高・・・	411
カナダ，グアテマラ・・・	369	7 主な国の公定歩合の推移	
コスタリカ，ジャマイカ，		(その1)・・・	414
メキシコ，アルゼンチン，		8 主な国の公定歩合の推移	
ウルグアイ，エクアドル・・・	370	(その2)(Ⅰ～Ⅲ)・・・	416
コロンビア，チリ，		9 国際商品価格指数と主な国	
パラグアイ，ブラジル，		際商品の価格・・・	419
ベネズエラ，ペルー・・・	371	10 物価の上昇が激しい国・・・	420
ボリビア，オーストラリア，		11 物価が安定している国・・・	420
ニュージーランド，		12 世界の消費者物価指数・・・	421
パプアニューギニア・・・	372		

13	主な国の消費者物価指数の 対前年上昇率(Ⅰ～Ⅳ)……	422
14	東京と各都市の内外価格差	426
15	各国の対外債務総額の構成 (Ⅰ～Ⅲ)……………	428
16	海外資金の流入, 対外債務 ・返済比率(Ⅰ～Ⅲ)……	431

(図)

1	主な国の財政収支の対GD P比……………	410
2	付加価値税率の国際比較…	411
3	中央政府歳出の使途別構成	412
4	各国の公定歩合の推移……	413
5	各国の消費者物価指数の対 前年上昇率……………	421
6	各国の対外債務残高と対G NI比……………	427

第10章 運輸と通信

(表)

1	主な国の鉄道輸送量 (Ⅰ～Ⅱ)……………	438
2	主な国の自動車輸送量 (Ⅰ～Ⅱ)……………	439
3	主な国の道路現況 (Ⅰ～Ⅱ)……………	441
4	自動車の保有台数 (Ⅰ～Ⅲ)……………	444
5	主な国の二輪自動車保有台 数……………	447
6	世界の主要貨物海上荷動き 量……………	447
7	世界の商船船腹量……	448
8	国別・港湾別のコンテナ取 扱量……………	449
9	各国の民間航空輸送量……	450
10	主要空港の利用実績 (Ⅰ～Ⅱ)……………	450

11	主要航空会社の輸送実績…	451
12	各国の郵便事業……………	452
13	各国の郵便物取扱数……	453
14	各国の固定電話加入回線数	454
15	各国の携帯電話加入契約数	455
16	インターネットの利用状況	456
17	ブロードバンド通信の利用 状況……………	457
18	ケーブルテレビ加入世帯数 と衛星放送受信世帯数……	457

(図)

1	各国の鉄道営業キロ……	437
2	主な国の自動車保有台数の 推移……………	443
3	商船の国別・船種別の船腹 量……………	449
4	各国のインターネット・携 帯電話利用状況……………	455

第11章 諸国民の生活

(表)

1	各国の主要指標(Ⅰ～Ⅳ)…	460
2	平均寿命, 乳児死亡率など 保健統計(Ⅰ～Ⅲ)……	464
3	死因別死亡率(Ⅰ～Ⅱ)……	467
4	人口千人あたりの医師数・ 病床数……………	469
5	結婚率と離婚率……………	472
6	1人1日あたり供給栄養量 (Ⅰ～Ⅳ)……………	474
7	1人1日あたり食料供給量 (Ⅰ～Ⅳ)……………	477
8	教育に関する指標 (Ⅰ～Ⅲ)……………	482
9	世界各国の出版点数 (Ⅰ～Ⅱ)……………	489
10	日刊新聞発行部数(Ⅰ～Ⅱ)	490
11	各国の道路交通事故	

(Ⅰ～Ⅱ).....	492	3 主要国の防衛費の推移.....	512
12 犯罪の国際比較.....	494	4 主な国・地域の兵力.....	513
13 観光客到着数および国際観光収入.....	495	5 OECDの通常兵器輸出入の推移.....	516
14 都市生活の指標.....	496		
15 主な国の二酸化炭素(CO ₂)排出量.....	497		
16 安全な水へのアクセス状況	498		

(図)

1 OECDによる悪性新生物(がん)の年齢調整死亡率	470
2 1人あたりの医療関連支出	471
3 所得の分配.....	473
4 主な都市の戸建住宅の広さと価格の比較.....	481
5 男女別の平均就学年数.....	488
6 二酸化炭素(CO ₂)排出量の国別割合.....	497

第12章 軍備・軍縮

(表)

1 主な核保有国の戦略核状況	504
2 インド、パキスタン、イスラエルおよび北朝鮮の核搭載可能弾道ミサイル保有状況.....	505
3 各国の国防支出と予算比較(Ⅰ～Ⅲ).....	506
4 主要国・地域の兵役制度	512
5 各国の兵力比較(Ⅰ～Ⅱ).....	514
6 地域別・組織別の通常兵器輸出入.....	516
7 通常兵器輸出国・輸入国	517
8 世界の兵器製造企業.....	518

(図)

1 世界の核弾頭数.....	504
2 戦略核弾頭の削減の推移	505

凡 例

- ▼年次はすべて西暦を使いました。特に「年度」とあるもの以外は暦年（1月から12月まで）です。「年度」は会計年度を指し、国により始まりと終わりが異なります。商品別の特別年度（たとえば肥料年度）については、統計表に注記しました。
- ▼単位は原則としてメートル法によっていますが、場合により、メートル法以外の単位も使用しました。ただしそれは、常用の習慣がまだ残っているものにかぎります。重量単位tも特記しないかぎり「メトリック・トン」(1000kg)です。
- ▼ドルは各国通貨単位を用いた場合以外は、アメリカ合衆国のドル（米ドル）です。
- ▼単位のくり上げのために、合計欄の数字とうちわけを合計した結果が一致しないことがあります。
- ▼単位のくり上げの方法は四捨五入の方法によりました。
- ▼統計表で最近年の数字は後で修正されることがあります。
- ▼海外事件の日付は現地時間によります。
- ▼ただ中国とある場合は、台湾省および香港特别行政区を含みません。
- ▼台湾、香港、マカオ及び各国の属領はカッコ付きの表記としました。
- ▼セルビア・モンテネグロは旧ユーゴスラビア連邦共和国です。

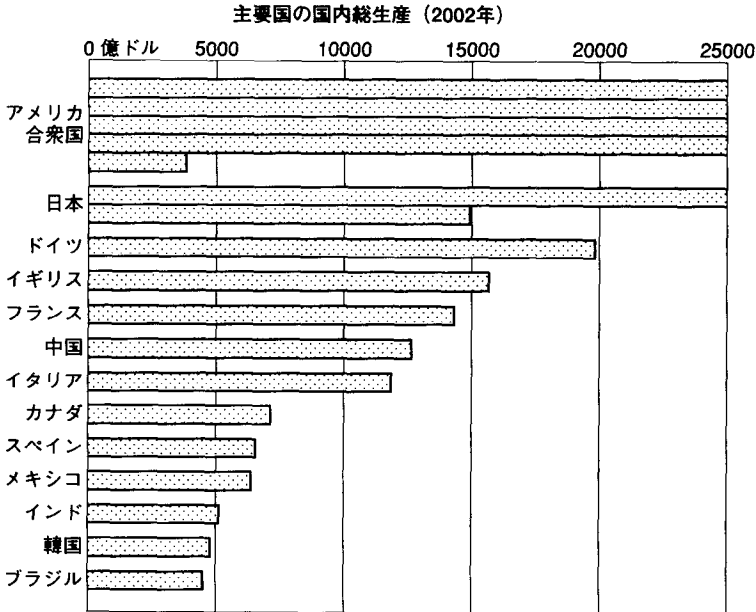
統計表について

本書に掲げた統計表の中で、
— は皆無なこと、またはあてはまる数字のないこと
0 または 0.0 は単位に満たないこと
… は不詳なこと を示します。

国際統計および主要国の基礎データについての留意点

本書で利用する海外統計は、各国政府や公的機関あるいは業界が公表した原数値、修正値、推計値などであるが、人口、GDP、貿易などがほぼ同じ基準で統計が取られているのに対して、労働、物価、文化指標などは国によって統計の定義、分類、集計範囲が異なっている。そのため各国のデータの整合性がとれず、数値を直接比較することが難しく、データの扱いには注意が必要となる。また、国際統計の多くは、毎年数値が遡って修正されるのが通例で、なかには農業生産などのように、一桁違うような大幅な訂正も行われている。国際統計を利用する際には、整合性がとられていない統計が多いことを留意されて、各注釈を一読されたい。

14～20ページの主要国の基礎データは、主要分野の中から33項目を選択し、2002年のGDP（世界銀行「World Development Indicators」2004年版による）上位16か国にアジアの4か国を加えた主要20か国について統計を掲載したものである。統計表の下には各項目に関連したグラフも掲載し、表とグラフで主要国の簡単な比較ができる。なお、各項目の資料名、脚注およびここに掲載した主要国以外の国の数値については、表中に本書の該当ページを示したので、そちらを参照されたい。



主要国の基礎データ (1)

	面積 (千km ²)	人口 (千人)	人口 増加率 (%)	65歳以上 人口割合 (%)	人口予測 (千人)	就業者数 (千人)
	2000	2002	1990~2002年 平均	2002	2050	2002
日本…………	378	127 435	0.3 ⁵⁾	19.0	109 722	63 300
中国…………	9 597	1 284 530	1.0	7.3	1 395 182	⁶⁾ 730 250
韓国…………	99	47 640	0.9	7.9	46 418	⁷⁾ 21 061
インド…………	3 287	1 050 640	¹⁾ 1.9	⁶⁾ 4.5	1 531 438	…
シンガポール・	0.7	4 160	2.7 ⁷⁾	7.3	4 538	2 017
タイ…………	513	63 480	1.1 ⁷⁾	6.1	77 079	⁶⁾ 33 484
インドネシア・	1 905	211 060	²⁾ 1.6 ⁸⁾	4.5	293 797	91 647
マレーシア…	330	23 970	2.4 ⁹⁾	3.7	39 551	⁷⁾ 9 322
イギリス……	243	59 229	0.3	15.9	66 166	28 415
フランス……	552	59 470	0.4 ⁵⁾	16.1	64 230	¹²⁾ 22 110
ドイツ……	357	82 490	0.3	17.5	79 145	36 536
イタリア……	301	57 480	³⁾ 0.2 ⁵⁾	18.9	44 875	21 922
スペイン……	506	40 980	⁴⁾ 0.3 ⁵⁾	16.9	37 336	16 258
オランダ……	42	16 105	0.7 ¹⁰⁾	13.5	16 954	⁶⁾ 7 865
ロシア……	17 075	144 080	⁴⁾ -0.2	12.9	101 456	¹⁰⁾ 60 408
アメリカ合衆国	*9 629	288 369	1.2	12.3	408 695	136 485
カナダ……	9 971	31 360	1.0 ⁵⁾	12.8	39 085	15 412
メキシコ……	1 958	103 230	1.8 ¹¹⁾	4.4	140 228	⁶⁾ 39 004
ブラジル……	8 514	174 630	1.6 ⁷⁾	5.9	233 140	⁶⁾ 75 458
オーストラリア	7 741	19 660	1.2 ⁷⁾	12.3	25 560	9 311
本書掲載ページ	28~38	57~62	62~64	70~74	78~80	106~109

1) 1994~2002年。2) 1990~2000年。3) 1991~2001年。4) 1990~2001年。5) 2003年。6) 2001年。7) 2000年。8) 1997年。9) 1998年。10) 1999年。11) 1995年。12) 1994年。*見直しにより1999年のデータより大きく増加した。

